

教科名〔 国 語 〕

科目名	単位数	学年・組	担当者名
古典	2単位	3学年 1～6 組	*

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>古典的語彙を豊かにし、古典文法の学習を深める。                  古典的名作を読み、固有の情緒や、描かれた文学的世界を味わう。                  書き下し文、句法等漢文の基礎を学習する。                  日本と中国の古典の面白さを発見する。</p>
使用教科書・副教材等	<p>第一学習社『標準古典』                  東京書籍『新総合図説国語』 プリント教材</p>

2 学習計画及び評価法等

学 期	学習内容	月	学習のねらい	備考	考 査 範 囲	評価の観点 の ポイント			
						態度 関 心 ・ 意 欲	思 考 ・ 判 断	技 能 ・ 表 現	知 識 ・ 理 解
第 1 学 期	<p>「わらしべ長者」                      (『宇治拾遺物語』)</p> <p>・脚注を参考にしながら口語訳をする。                      ・内容の面白さを理解する。                      ・用言の活用形を、しっかり学習する。</p>	4	<p>・昔話として広く知られている古文教材を通して、古文への興味・関心を深める。                      ・比較的長い説話を読んで大意を把握する力を養う。                      ・各説話の主題を考えた上で、それぞれの面白さを味わう。</p>	1. 学習活動の特記事項 2. 副教材の使用など	第1学期中間考査				
	<p>「延喜の帝」                      「道隆と福足君」                      「弓争ひ」                      「三舟の才」                      「鶯宿梅」                      (『大鏡』)</p> <p>・用言の活用                      ・動詞・形容詞・形容動詞の特質を学ぶ。                      ・それぞれの活用形を覚える。                      ・口語訳をする。                      ・作品の面白さを味わう。</p>	5 6 7 8	<p>・歴史物語のおもしろさにふれる。                      ・『大鏡』独特の戯曲的設定を認識し、その効果について考える。                      ・敬語表現や会話独特の文末表現に注意して読み味わう。                      ・生徒に親しみあのある作品を用いて、用言の学習の基礎を学ぶ。                      ・脚注と文法知識を活用して、口語訳を試みる。                      ・登場人物の心情を理解する。</p>		第1学期期末考査				
第 2 学 期	<p>「故事・寓話」                      『朝三暮四』                      『画竜点睛』                      『推敲』</p>	9 10	<p>・故事・寓話・古代の史話を学ぶ                      ・訓点の働きを復習する。                      ・特に、レ点、一二点を中心として、訓点の働きを理解する。                      ・しっかりと書き下し文に直す。</p>		第2学期中				

	<p>「古代の史話」 『管鮑之交』 『背水之陣』</p> <p>・訓点の働きを理解する。 ・原文を書き下し文に直す。 ・難しい熟語の意味を調べる。 ・全体を訳す。</p>	<p>・話の展開を理解する。 ・内容の面白さを理解する。</p> <p>・やや長い漢文を読解する力を身につける。 ・登場人物相互の関係を正しくとらえ、それぞれの人柄や心理を理解する。</p>		問 考 査				
	<p>『源氏物語』 「光る君」 「夕顔」 「若紫」 「明石の君と姫君」</p> <p>・動詞・形容詞・形容動詞、それぞれの活用形を答える。 ・口語訳をする。 ・作品の面白さを味わう。</p>	<p>1 0 1 1 1 2</p> <p>・長編物語のおもしろさを読み味わう。 ・主人公・光源氏の青年時代が、どのような女性たちとのかかわりの中で構成されているかととらえる。 ・作品人物の心理を理解する。 ・文に頻出する用言について知的理解を深める。</p>		第 2 学 期 期 末 考 査				
第 3 学 期	<p>『蜻蛉日記』 「甘坏の水」 『紫式部日記』 「日本紀の御局」 『和泉式部日記』 「夢よりもはかなき世の中」</p> <p>・難しい語句を辞書で調べる。 ・文法知識を活用して、口語訳をする。</p>	<p>1 2 3</p> <p>・日記に記載された事実から、書き手の人柄や心情を読み取る。 ・平安貴族の知性に触れる。 ・平安中期から鎌倉中期までの代表的な女流日記文学を読み味わい、その特色を理解する。 ・それぞれの作者の生きた時代や、立場の違いにも注目し、各作品にこめられた作者たちの思いを読み取る。 ・日記文学の多様性にふれる。</p>		学 年 末 考 査				
<p>【1・2・3学期における課題・提出物等】 授業で使用したすべてのプリント。ノート。長期休暇中の宿題。その他折々の課題。</p>								
<p>【1・2・3学期における評価方法】 定期考査(約70%) 平常点(出欠・授業中の態度・提出物等 約30%) 1・2・3学期の成績の出し方は内規通り。</p>								